



# 確かな学力の向上をめざして【12月】

## ■言語活動を通して資質・能力を育成する



外国語では、「言語活動を通して4技能を育成すること」が大切です。今年度行った中学校英語訪問を通して、次の2点がコミュニケーションの力を育成する授業改善のポイントとして見えてきました。子どもたちの力を伸ばすために、学びの連続性を意識して学習を進めていきましょう。

### 1) 言語活動を見直しましょう

実際のコミュニケーションに近い活動を設定するのが大切なんだね。



授業で行っている「言語活動」が、互いの考えや気持ちを伝え合う活動になっているか確認してみましょう。先生のあとに続けてリピートして言う活動や、決まった型だけの表現で会話する練習で終わらず、子どもたち自身が、学んだことを「言語活動」の中で取舍選択しながら活用していくことが大切です。

(参考) 小学校外国語活動・外国語研修ガイドブック

#### 言語活動「実際に英語を用いて互いの考えや気持ちを伝え合う」活動



コミュニケーションを行うことによって達成しようとする**目的**  
話し手や聞き手を含む発話の**場面**  
相手との関係性やコミュニケーションを行う際の**状況**を設定して行う



#### 理解や練習のための指導

英語を用いず、日本語だけで情報を整理しながら考えなどを形成する活動  
英語を用いているが、考えや気持ちを伝え合うという要素がない活動  
発音練習や歌、英語の文字を機械的に書く活動 など



### 2) 即興的にやり取りする力を育成しましょう

Small Talk で繰り返し練習して高めていこう。



実際のコミュニケーションの場面では、情報や考えを即座にやり取りすることが多く、英文を頭の中で組み立てる時間が長くとれません。そこで、「即興で伝え合う」力が必要になってきます。小学校中学年ではやり取りの達成感を感じさせること、高学年では自分の力で伝え合うことを大切にしましょう。それが中学校の学びの基盤になります。

#### 話すこと（やり取り）の目標

##### 小学校外国語活動 (3・4年生)

目標ウ  
「**サポートを受けて**、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問をしたり質問に答えたりするようにする」

##### 小学校外国語科 (5・6年生)

目標ウ  
「自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて**その場で**質問したり質問に答えたりして、伝え合うことができるようにする」



接続

##### 中学校外国語科

目標ア  
「関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて**即興で**伝え合うことができるようにする」

#### Point

子どもたちの意欲を高めるために、**必然性のあるやり取り**を設定しましょう。また、単元構成する際に、**ゴールを明確にし**、バックワードデザイン（逆向き設計）で1時間ごとの授業を考えましょう。子どもたちが学んだことを発揮しやすいように、授業で取り組んだ言語活動がゴールの活動につながるように単元構成を行うことが大切です。